

外づけドライブでのデータ共有

ファイルシステムの違いに注目してみよう

MacにもWindowsにも、USBやIEEE1394などの外部インターフェイスが接続されている。このインターフェイスを利用するタイプの記憶装置もまた多い。

ハードディスクやフロッピー、フラッシュメモリなどといった記憶装置の場合、接続しようとするOSがサポートしているファイルシステムが問題になる。

Windowsの場合、FATとNTFSと呼ばれる2種類のファイルシステムが使われている。FATはさらに、FAT12・FAT16・FAT32などに区分できるが、ハードディスクの場合、現在ではほとんどすべてがFAT32を利用している。ちなみに、FATはWindows98/Meなどで使用されていた、MS-DOS用のものを基礎とするファイルシステムで、NTFSはWindowsNT(Windows2000/XPの前身。Windows2000の正式名称はWindows NT 5.0で、XPはNT5.1)用に作られた新し

ファイルシステムを確認する



ドライブのプロパティ画面を開くと、ファイルシステムがFAT32なのかNTFSなのか確認できる

いファイルシステムで、同じWindowsの仲間であっても、98/Meからは読み書きできない。

Macでは、FAT32ディスクの読み書きには対応しているが、NTFSでの読み書きには対応していない。このため、WindowsXPに接続していたハードディスクを、Macに接続しなおした場合、読み取りができなくなる可能性が高い。

この場合、間違いなしにファイルシステムがNTFSとなっているので、Windowsパソコン

ファイルシステムの変更は？



ファイルシステムの変更は、システム設定用のツールを使わないと行えない。この際、ディスクは必ず初期化される

に接続し直してファイルをバックアップし、FAT32でディスクをフォーマットし直さなければならない。USB接続のフラッシュメモリの場合も同様である。

なお、フロッピーなどの容量の小さなメディアの場合、NTFSでの初期化が不可能なので、特に意識していくてもFAT32ではなく12となることもある)でフォーマットされる。この場合、どのパソコンでも問題なく読み書きできる。

NTFSディスク上で動くWindowsファイルの場合は？

細かい違いはOSが吸収してくれる

ここでちょっと疑問になってくるのが、NTFSで初期化してあるディスク上で動いているWindowsの共有フォルダを、Mac上から参照したらどうなるか、ということだ。MacOSがNTFSを認識できない以上、このWindowsの共有フォルダを外部から認識することはできないのではないか、と考えることだろう。

結論から言えば、ネットワークを経由させた場合、相手のパソコンがどのようなファイルシステムを使用しているか、それが問題となることはない。ファイルシステムの違いは、それぞれのOSがディスクをマウントする段階で吸収してしまっている。

実は、「共有フォルダ」の中身は、特定のファイルブラウザ(エクスプローラやファインダー)が直接相手のディスクをマウントし、表示しているのではない。ファイル共有用のサーバソフトが基本的な情報をクライアント側に送信し、標準ファイルブラウザがそのデータを表示しているだけに過ぎない

のだ。要するに、標準のファイルブラウザが使え、インターフェイスが統一されている、という点を除けばFTPとさほど大きな違いはない。

FTPやWWWというインターネット系のサービスにおいても、クライアントパソコンに転送されて来る各種データはサーバのハードディスク内に格納されているはずなのだが、サーバソフトに至る以前の段階ですべて違いが吸収されてしまっているので、

ユーザーは相手のサーバがどのようなOSで動いているのかさえ意識する必要がない。

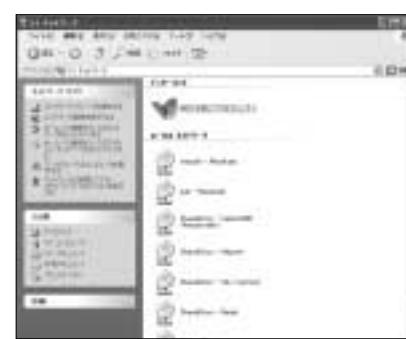
ファイルシステムの違いによるトラブルを防ごうと思う場合には、利用しているパソコンをWin・Mac問わずすべてネットワーク接続てしまい、その上で各記憶装置を共有化して使うのが一番だ。この方式が最も安定した状態で、ファイルの送受信ができる環境となる。

Webの場合と基本は同じ



Webの場合、相手のコンピュータのOS・ファイルシステムがどうであろうと、問題なくファイルを表示することができる

外見は同じに見えるが…



ネットワーク上の共有フォルダは、ローカルフォルダと同じように見えるが、その中身はかなり違っている